

海自護衛艦「いずも」「むらさめ」カムラン港寄港スピーチ

(6月15日(土) 1830～、艦上レセプション、逐次通訳)

●レー・ドゥック・ヴィン人民委員長をはじめとするカインホア省人民委員会の皆様、

●第4海軍区副司令官ファム・ヴァン・ホアット上級大佐、カインホア省国境警備隊司令チャン・クオック・トゥアン大佐をはじめとする国防省の皆様、

●外交団、武官団及び邦人関係者の皆様

●日本政府を代表して、本日の「いずも」艦上レセプションに参加いただいている皆様に、心よりお礼を申し上げます。

●また、第1護衛隊群司令 江川 宏(えがわ・ひろし)海将補の下、4月30日から7月10日までの長期にわたる「インド太平洋方面派遣訓練」に参加されている約600名の皆さん！

今般、「いずも」、「むらさめ」とともにベトナム・カムラン国際港に寄港されたことに、心より歓迎の意を申し上げます。また、本日のレセプションを準備いただいたことに対し、感謝申し上げます。

●日越関係及び防衛協力に関し、少し説明させていただきます。

現在の日越関係は、指導者間の厚い信頼感、国民間の強い親近感

に支えられ、「広範な戦略的パートナーシップ」の下、すべての分野で着実に緊密化しています。また、日越両国は、「法の支配」、自由で開かれた国際秩序の維持、航行の自由等、「多くの戦略的利益」を共有しており、「自然の同盟関係」であるという方もおられます

●日本は、ベトナムが持続的成長を達成し、より繁栄した、強い国になることは、地域全体の安定と発展にとって極めて重要と考えており、この観点からもベトナムとの連携を一層強化したい意向です。

●カインホア省は、ベトナム中南部の中核都市であるのみならず、日本にとっても重要なシーレーンの存在する南シナ海（東海）に面する戦略的要所に位置しています。カインホア省の経済発展は、日本の国益にとっても重要です。その観点から、住友商事のバンフォン第1石炭火力発電所の融資契約締結が本年4月になされ、着工に向けた準備が着々と進んでいること、また、日本企業からの投資（投資総額約2,612万米ドル）や観光客が増えていることを心より歓迎いたします。

●日越防衛協力は、この数年の間に急速に進展しています。昨年4月、リック国防大臣が訪日し、「防衛協力に関する共同ビジョン」が作成されました。

また、今年5月初旬、岩屋防衛大臣の訪越は、「令和」の時代にな

って、ベトナムを訪問した初の日本の要人であり、また、約3年半ぶりの日本の防衛大臣のベトナム訪問でもありました。リック国防大臣、フック首相との会談では、防衛協力を更に強化することに合意がありました。また、安倍総理が提唱する「自由で開かれたインド太平洋」構想については、ベトナムから賛意が示されました。

●日越防衛当局間の交流には、新たな取組みが目白押しです。

例えば、昨年9月、海自の訓練潜水艦が初めてダナンに寄港しました。ベトナムのフリゲート艦「チャン・フン・ダオ」は昨秋、横須賀港及び堺港に、ベトナム海軍の船として史上初めて寄港しました。

●今年3月、海自の外洋練習航海部隊がダナンに寄港した際、日越海軍合同演奏会が初めて開催されました。そして今年11月の自衛隊音楽祭り(日本)には、ベトナム人民軍音楽隊が初めて招待されます。

●また、今回「いずも」「むらさめ」は当地出港後、初めて日越海軍種親善訓練(越領海内で共同巡航, 通信訓練)を実施します。

●現在、世界情勢は、米中の覇権争い、北朝鮮、イラン問題などをめぐり、不透明感が増しています。その中で、多くの戦略的利益を共有する日越両国防衛当局間の連携強化は、地域の安全と安定にとって益々重要となっています。日越防衛当局の皆さまの一層のご活躍を

心より期待致します。

●最後に、皆様の御健勝、日越関係全般の一層の深化を祈念し、私の挨拶と致します。ありがとうございました。

2019年6月15日 在ベトナム日本国大使 梅田邦夫(了)